

特定非営利活動法人

2015年 11月号

〒520-0815

大津市膳所1丁目10-4

TEL/FAX : 077-521-3603

メール:yomawarinokai@gmail.com

大津夜まわりの会ニュース

第15回

歳末越冬支援のつどい

ことしも 12月23日(祝)に開催

年末の恒例行事「歳末越冬支援のつどい」が近づいてきました。2001年から回を重ねて今冬で15回目を迎えます。

昨年同様、12月23日(祝)午前11時から午後1時30分まで。会場は膳所市民センター駐車場一帯です。

ことしは「生活に困っている人たちを応援するつどい」という原点に立ち返り、支援が必要な方々により多く来ていただき、食べ物や支援の品がちゃんと行き渡るように努めます。会場ではいろんな団体、機関のご協力をいただき、もちつきや炊き込み御飯、豚汁などの食べ物のほか、市民の方々から寄せられた冬物の衣料品、生活用品なども提供します。また、キッズコーナーを同時開催、市民センター内で「お楽しみ会」を開きます。

この「つどい」は、「NHK 歳末たすけあい(赤い羽根共同募金)助成事業」に採択され、助成を受けることになりました。

支援品のお願い

歳末越冬支援のつどいでは、皆様から提供していただく品々を来場者に無料でお渡しします。衣料品(新品か洗濯済み)や食料品(お米、インスタント食品、消費期限・賞味期限内の食品)、日用品、各種プリペイドカードや切手類などをご提供ください。皆様方の善意で意義深い催しになるよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

福祉巡回車

いただきました

生命保険協会 滋賀県協会さん ありがとうございました！！



白いボディに「大津夜まわりの会」の表示がまぶしい新車(軽乗用車)が「福祉巡回車」として当会にやってきました。生命保険協会滋賀県協会からの寄贈です。

10月19日、滋賀県社会福祉協議会前での贈呈式では、当会の馬殿貞爾副理事長(写真左)が畑野宏生命保険協会滋賀県協会会長(写真右)から記念キーを受け取り、馬殿副理事長が同協会に感謝状を贈りました。

いただいた福祉巡回車は早速、支援活動に活用。シェルターの巡回や要支援者の移動・転居、支援物資の運搬などにフットワークよろしくフル回転しています。

大津市民活動フェスタ

11/15 (日)

参 加 し た よ ~

大津夜まわりの会は11月15日に大津市浜大津・明日都3階で開催された大津市市民活動センター主催の「市民活動フェスタ2015」に参加。活動をPRし、生活困窮者への理解と支援を訴えるとともに、当会特製の「鬼まんじゅう」や「豆腐ドーナツ」、ドリップコーヒーなどを販売し、フェスタを盛り上げました。



「鬼まんじゅう」は名古屋など愛知県界隈でよく知られた「おやつ」。今回、当会の永田栄養士が考案したレシピに従い、フェスタ前日の14日朝から利用者の協力により、90個を作り上げました。また、無添加、ヘルシーなドーナツも永田栄養士の発案で15日早朝から90個を製作。どちらも1パック(3個入り)150円で販売し、パックにはレシピも添付しました。どちらもなかなかの人気のため、豆腐ドーナツはオープンからわずか1時間で、鬼まんじゅうも2時間で完売しました。ドリップ式のコーヒー(1カップ100円)、紙パック入りジュース(1箱100円)も好評でした。

社会生活基盤づくり講座の一環として 利用者が積極参加、熱心に活動

市民活動フェスタへの参加活動は、シェルター入所者や元入所者など、日ごろ支援している人たちを対象に本年度からスタートした「社会生活基盤づくり講座」に組み込みました。

15日のフェスタ当日までには、店舗出店のためのポップづくりなど準備作業、「鬼まんじゅう」などの製作、



会場に展示する活動紹介パネルの手直し作業などに従事。当日は物品搬入、店舗設営、パネルの設置を行い、オープンともに「売り子役」も担当。コーヒーをいれたり、お金の受け渡しをしたりして接客を経験、終了後は撤収、後片付け作業まで、熱心に取り組みました。

こうした活動を通じて、みんなで力を合わせるチームワークの大切さやすばらしさも体感することができたようです。

市民活動フェスタへの参加で体験したことを契機に、自立に向けた意欲や自信につながれば幸いです。

